

一般社団法人日本保育学会中部地区理事・評議員会
第6回中部地区研究集会

2023.03.21

戦争と保育、そして子どもたち

13-15時 オンライン (zoom)
参加費無料・上限300名

長期化するウクライナ情勢、世界各地で起こっている紛争など、今の世界は決して平和ではありません。連日報道される戦禍の様子や犠牲者の痛ましい姿をみて、保育学の理論と実践研究に携わっている私たちは、現地の人々や子どもたちに思いを馳せ、「平和な社会」「安心して暮らせる状況」が戻ってきてほしいと願わずにはおれません。

日本では1931年の満州事変の勃発以降国家による戦争が15年間の長きにわたって続き、1945年8月、悲惨な社会破壊と甚大な数の犠牲者を出して敗戦を迎えました。この間、学校教育は徐々に軍国主義の波に飲み込まれ、「皇国の子ども」として教育されていた事実は知るところです。幼稚園や保育所の保育はどうだったのでしょうか。幼い子どもの生活はどうだったのでしょうか。

本シンポジウムでは、このような歴史的事実に向け、戦争が保育や子どもに及ぼした影響を知ることによって、平和な社会で子どもが育つ意味、乳幼児期からの平和保育の大切さを参加者とともに考え語り合いたいと思います。

話題提供1 清原 みさ子 (愛知県立大学名誉教授)

戦時の保育日誌等から「保育の実際」「保育者の思い」「園児の様子」を知る

保育史研究の立場から、近編著『戦争と保育 戦中・戦後の幼稚園・保育所の実際』(新読書社)に収録された全国の幼稚園や保育所の保育日誌をはじめとする諸資料から当時の保育の実際・保育者の思い・園児の様子などを語っていただきます。

話題提供2 穴戸 洋子

(元愛知県半田市立幼稚園園長、元名古屋短期大学教授)

私の疎開体験、先輩の疎開保育実践 そして平和絵本と保育への願い

戦争を体験された保育実践者・研究者の立場から、ご自身の戦争体験—疎開でのこと、集団疎開保育—映画「あの日のオルガン」の先輩保育者たちから学ぶこと—そして平和絵本と保育への願いなどを語っていただきます。

申し込み方法

申し込み方法は右のQRコードからお願いいたします。
申し込み受付開始は、2023年1月20日です。後日詳細をお送りします。
Zoomのアプリ等をご用意ください。

